

# 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

の所管事務調査を行ないましたので報告します。また、3月定例会で  
について審査を行ないました。

**総務常任委員会（瀬戸口三郎委員長）**  
平成19年1月22日～23日に熊本県上天草市・  
菊池市にて所管事務調査を行ないました。また、  
曾於市国民保護対策本部及び緊急対処事態対策  
本部条例の制定など11件について委員会を開き、  
慎重に審査した結果、議案8件を全会一致、議  
案3件を賛成多数で可決すべきものと決定しま  
した。

## ☆所管事務調査報告

### （調査地）

熊本県上天草市・菊池市  
（調査事項）合併後の組  
織機構の再編と住民サー  
ビスについて・合併支援  
措置による特例債、特例  
交付金、推進補助金等の  
取り組み状況について  
（日程）

平成19年1月22日～23日  
上天草市は分庁方式と  
して、2庁舎2支所6出  
張所でスタートし、現本  
庁舎と同等の庁舎建設が  
計画されていきました。予  
算の配分は、旧町のニー  
ズが異なり苦慮していま  
した。また、事業につい  
ては、合併特例事業より辺



総務委員会所管事務調査

地・過疎対策事業を優先  
して、取り組んでいまし  
た。菊池市においても、  
人件費・福祉費の増によ  
り計画されていきました。  
新庁舎建設は凍結され、  
職員の採用もされていま  
せん。問題点としては、  
合併協議会の議決事項と  
新市の行財政政策実施計  
画との整合性の難しさが  
あります。職員の異動に  
ついては、住民サービス  
の低下にならないように  
旧町職員の配置がされて  
いました。両市政状況に

れま  
す。

☆曾於市国民保護対策本  
部及び緊急対処事態対  
策本部条例の制定につ  
いて

**問** 本市の国民保護計画  
はいつできるのか。  
**答** 市でも計画案を作成  
し、現在、県と協議中  
である。

☆曾於市個人情報保護条  
例の制定について

変わりが  
なく、今  
後、事業  
の検討・  
見直しを  
始め、住  
民サービ  
スの低下  
を考慮し  
ながら職  
員一丸と  
なって取  
り組むべ  
き大きな  
課題であ  
ると思わ  
れます。

**問** 実施機関について、  
シルバー人材センターや  
社会福祉協議会は対象と  
しないのか。  
**答** 審議会等は対象とな  
るが、他の法人・団体は  
対象としない。

☆曾於市議会議員等の報  
酬、費用弁償及び期末  
手当の支給に関する条  
例の一部制定について

**問** 滞納整理指導官は、  
月に何日程度庁舎内で指  
導されるのか。  
**答** 月に2日程度である  
が、その他にこちらから  
出向いて相談に行くこと  
もある。

☆曾於市国民健康保険税  
条例の一部制定につ  
いて

**問** 改正条文に「最初の  
納期」とあるが、通常何  
期分になるのか。  
**答** 年度途中で加入され  
た方等以外は、第2期分  
に合算される。

☆平成19年度曾於市一  
般会計予算（所管分）

**問** 予算編成にあたり、  
当局としてはどのような  
考え方で臨んだのか。  
**答** 厳しい地方財源の確  
保が予想される中で「心  
豊かで夢と希望のもてる  
元氣な曾於市」の創造を  
目標に、地域の均衡を図  
りながら諸政策の実現に  
向け徹底したコスト削減  
に努め、最大の効果を上  
げるための予算とした。

**問** 庁舎改修について

**答** 土地開発公社の土地  
を購入して、末吉庁舎の  
駐車場整備をする。

**問** 財部駅舎について。  
**答** 駅舎の老朽化にとも  
ない、駅舎とトイレを一  
体化した駅舎等の整備を  
する。

**問** 職員の研修・派遣に  
ついて。  
**答** 県後期高齢者医療広  
域連合会の発足にともな  
う1名の職員派遣と県大  
阪事務所への農産物生産  
流通実務職員研修費であ  
る。

# 委員

各常任委員会は、閉会中付託になった議案・陳情

## 文教厚生常任委員会（渡辺利治委員長）

平成19年1月25日～26日に大分県大分市・別府市にて所管事務調査を行いました。また、曾於市乳幼児医療費助成金支給条例の一部を改正する条例の制定など16件について委員会を開き、慎重に審査した結果、議案11件を全会一致、議案4件を賛成多数で可決、陳情1件を全会一致で採択すべきものと決定しました。

### ☆所管事務調査報告

#### （調査地）

大分県大分市・別府市

（調査事項） 障害者に関する

市独自の支援策について・子育て支援策について

#### （日程）

平成19年1月25日～26日

大分市は、障害者自立支援法における利用者の負担軽減を独自に講じており好評であったが、今後、国の軽減策が

見直されるため今年度限りです。障害児（者）の余暇活動等、社会参加のための外出の際の移動支援策として、国基準より長い90時間を設定しています。福祉的就労促進支援事は、市の負担1600万円で一般就労が困難な知的障害者に喫茶店を造り収益事業をしています。別府市においては、子育て支援拠点施設「ほっぺパーク」があり、親子がほっぺとほっぺをくっつけてふれあうような施設で、乳幼児から小中学生、子育て家庭から高齢者まで利用され保育所・児童館・子育て支援センターが保育人・保育士・保健師も

配置されています。認可外保育施設への助成もあります。公立8ヶ所・私立18ヶ所で待機児童はいません。ファミリーサポートとは、保護者の急病か急な用事に対応するために、児童を自宅で預かってくれる家庭と預ける家庭が会員制度を作り、子育てを助け合うシステムです。万が一の保険料は、市が全額負担し利用料金は通常600円で、時間外700円で預ける会員52人、受け入れ会員83人で市民に大変好評な制度であります。

☆曾於市乳幼児医療費助成金支給について

県内2番目の施策で、6歳未満の乳幼児に係る医療費を所得に関係なく支給するが、予算的にも大きく差異がないことから、就学前までに対象年齢を改正すべきであるとの意見が出ました。

☆平成19年度曾於市一般会計予算(所管分)

問 クリーンセンターの維持管理費削減の努力は。

答 燃料に木くず等混ぜて節約し、鉄くずも売却、また管理委託先を変更するなどしている。

問 長寿祝金支給の考えは。

答 アンケートは取らないが、今後も節目支給で行なう。公民館活動の停滞にはつながらないと考えられる。

問 曾於郡医師会立病院の医師確保の対策は。

答 協議会・首長会を通して、小児科医等の確保に努める。

問 末吉中学校新校舎について。

答 今年8月に解体してプレハブ教室を造り、20年9月より新校舎で学べるようにする。財源は合併特例債での対応を考えている。

問 小規模校支援対策は。

答 各学校より要望を聞き総合的に見て、緊急度・優先度等で財政と協議して決定し、対応していく。

☆平成19年度曾於市国民健康保険特別会計予算

問 健康への認識の対策はどうしていくのか。

答 保健師の配置や指導等、国保だより等で周知を図っていく。

☆平成19年度曾於市介護保険特別会計予算

問 地域包括支援センターの人的体制は。

答 4月より臨時職員を含め2名増員し、ケアマネジャーも5名配置し、市民より相談があればすぐに外向いていく体制を整える。



文教厚生委員会所管事務調査

見直されるため今年度限りです。障害児（者）の余暇活動等、社会参加のための外出の際の移動支援策として、国基準より長い90時間を設定しています。福祉的就労促進支援事は、市の負担1600万円で一般就労が困難な知的障害者に喫茶店を造り収益事業をしています。別府市においては、子育て支援拠点施設「ほっぺパーク」があり、親子がほっぺとほっぺをくっつけてふれあうような施設で、乳幼児から小中学生、子育て家庭から高齢者まで利用され保育所・児童館・子育て支援センターが保育人・保育士・保健師も

配置されています。認可外保育施設への助成もあります。公立8ヶ所・私立18ヶ所で待機児童はいません。ファミリーサポートとは、保護者の急病か急な用事に対応するために、児童を自宅で預かってくれる家庭と預ける家庭が会員制度を作り、子育てを助け合うシステムです。万が一の保険料は、市が全額負担し利用料金は通常600円で、時間外700円で預ける会員52人、受け入れ会員83人で市民に大変好評な制度であります。

問 クリーンセンターの維持管理費削減の努力は。  
答 燃料に木くず等混ぜて節約し、鉄くずも売却、また管理委託先を変更するなどしている。  
問 長寿祝金支給の考えは。  
答 アンケートは取らないが、今後も節目支給で行なう。公民館活動の停滞にはつながらないと考えられる。

問 曾於郡医師会立病院の医師確保の対策は。  
答 協議会・首長会を通して、小児科医等の確保に努める。  
問 末吉中学校新校舎について。  
答 今年8月に解体してプレハブ教室を造り、20年9月より新校舎で学べるようにする。財源は合併特例債での対応を考えている。  
問 小規模校支援対策は。  
答 各学校より要望を聞き総合的に見て、緊急度・優先度等で財政と協議して決定し、対応していく。



**建設経済常任委員会（吉村幸治委員長）**

曾於市花房峡憩いの森の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定など14件について委員会を開き、慎重に審査した結果、議案13件を全会一致で可決、陳情1件を継続審査すべきものと決定しました。

**☆平成19年度曾於市一般会計予算(所管分)**

**問** 農業を守るため、農地の有効利用・遊休農地の解消等に積極的に取り組むとあるが、どのように活動するのか。

**答** 農業委員会の3部会で連携を取り合っており、遊休農地の解消に取り組むそれぞれ特色を持った農業を進める。

**問** メセナ住吉交流センターの、泉源掘削後の施設の改修はどうなるのか。

**答** 19年度に泉源掘削をして、20年度にパイプラインを予定している。

**問** 市単独間伐支援事業は新植(造林)などもあるので、今後も継続して



泉源掘削予定地 (末吉町新住吉)

くよう検討すべきである。

**答** 要綱では、17年度から19年度の3か年であるので、あとは検討したい。

**問** 大鳥峡周辺整備は、今後どのように考えているか。

**答** 19年度遊歩道の補修

として、防護柵とバンガローの下から2号橋まで整備する。なお、2号橋から岩屋観音までは岩があり補修は出来ないの、今後検討していきたい。

**問** 有機センターの堆肥利用が合併により、財部・大隅にも広がったと聞くがどうなっているか。

**答** 県の堆肥コンクールで県知事賞を受けるなど、有り難い評価もあつて、財部は園芸農家など、大隅は水田の施肥等に利用されるようになった。

**問** 農道等維持補修費

など、市単独土地改良事業補助が前年度22件積み残しがある中、減額になっていくがなぜか。  
**答** 積み残しがあつて迷惑を掛けられている。な

お、原材料は財政との関連で減額になっていて、緊急性等を考慮し補正でもお願いしたい。

**問** 18年度小災害で10万円以上40円未満が今後出てきた場合は、対応できるか。

**答** 市単独農業用施設災害復旧事業補助金で対応できる。

**問** 市道改良の、基本的な考え方はどうなっているか。

**答** 工事費1m10万円をオーバーしない範囲で、中央線無し1・5車線(6m)で地域の実情に応じ、ランク付けして延長を伸ばしていきたい。

**問** 河川の寄洲除去の考え方はどうなっているか。

**答** 災害防止のため計画的に行なつて、また県にも要請していく。

**問** 若者定住促進のため、市の住宅で水洗化を計画的にすべきである。

**答** 19年度、向江団地を公共下水道に接続して水洗化を行なう計画であ

る。

**問** 谷ヶ峯の堆肥等環境汚染防止対策の水質検査結果と、今後の対策はどうなっているか。

**答** 窒素分が多く水稲にも影響があるので、19年度も引き続き水質検査と水源確保のため用水パイプ補助を計画している。工事費等の入札に対する考え方はどうなっているか。

**答** 透明性・公平性・競争性を考え、19年度を目途に改善に向けて取り組みたい。しかし、地元業者の育成にも努めなければならぬ。



財部町谷ヶ峯地区

**問** 問題点はなにか。  
**答** 色々あるが、すでに浄化槽設置の人は難しい。また、早くして欲しいという人もいる。

**☆平成19年度曾於市水道事業会計予算**

**問** 石綿管布設替工事の計画はどうなっているか。

**答** 19年度から21年度の3年間で、道路改良と並行して布設替えを終了する計画である。

**☆平成19年度曾於市公共下水道事業特別会計予算**

**問** 下水道接続の推進の